

市立

小諸高原美術館・  
白鳥映雪館

## 油井祥子作品展

—この色を惜しむ前に—



「もしも私に翼があれば」  
2024年作 キャンバスに油彩

川上村出身の新進気鋭の画家・油井祥子による風景画の作品展を開催します。油井は東京藝術大学絵画科油画専攻を卒業後、長野県や東京を中心に精力的に制作や発表を続けています。

空を大きく大胆に配置した特徴のある構図は、故郷の空を彷彿とさせます。山や海などの何気ない場所も確かな技術力で描かれており、実際にある場所も作者の感情が伴う心象風景と化しています。

本展覧会では、幅 10m に近いサイズの組作品をはじめ 120 号から 50 号までの大作のほか、信濃毎日新聞に掲載されている「思索のノート」の挿絵 12 点、ドローイングなどの小品合わせて約 30 点を展示します。是非会場にて、油井祥子の描く空の色、空気感など、静謐な世界観をご堪能ください。

▶ 日 時 4/27(日)～7/10(木) 9:00～17:00

▶ 観覧料 一般 500 円、小中学生 250 円

▶ 休館日 月曜日 (5/5 は開館、5/7 (休)休館)

【ギャラリートーク】

▶ 日 時 5/17(土) 13:30～

▶ 講 師 油井 祥子 氏 ※観覧料必要、予約不要

園 市立小諸高原美術館・白鳥映雪館 ☎ 26-2070

昆虫写真家

## 海野和男の小諸日記

### スジグロシロチョウ



4 月になって、春の遅い小諸でも、白い蝶が飛んでいる。白い蝶はモンシロチョウと思込んでいる人が多いのではないのだろうか。モンシロチョウは小諸にもたくさんいるが、いるのはキャベツやブロッコリーを栽培している畑やナノハナ畑だ。林の近くで見かける白い蝶はモンシロチョウは少なく、スジグロシロチョウという蝶だ。見分け方はスジグロシロチョウの春型は翅の裏に黒い筋がある。これが名前の由来だ。スジグロシロチョウの幼虫はキャベツは食わず、イヌガラシなどの野生のアブラナ科植物の葉を食べる。

スジグロシロチョウにも 2 種類あって、普通のスジグロシロチョウと、ヤマトスジグロシロチョウという別の種類が混ざっている。この見分けは難しく、アトリエの庭には 2 種類いるが、ばくでも的確には見分けられない。

読者の皆さんにはモンシロチョウに似たスジグロシロチョウという白い蝶がいるということだけ知って貰えば良いと思う。



【写真】左がスジグロシロチョウ



毎週水曜日の午前中  
園庭開放しています

認定こども園  
**こもろようちえん**

### ひよこの日

入園前の親子の皆さま対象 **参加無料**  
**2025年5月から始まります**  
**いっしょに遊ぼう!**  
**「楽しいな、こもろようちえん」**  
受付9:30～10:00 活動時間11:45まで  
◎ご予約いりません。詳しくは電話でお問い合わせ下さい。  
感染症等により変更になる場合があります。ホームページをご覧ください。

☎0267-22-0355 小諸市三和1-5-16  
<http://www.komoroyouchien.ed.jp>

## 貴金属

金・プラチナ  
**買取専門店**

●査定無料 ●女性スタッフ対応

**SEIYU**  
小諸小原店内

## ブランド品・金券

切手・はがき・古銭!  
テレホンカードも歓迎!

※後日、偽物と判明した場合には返品・返却させていただきます。  
※買取の際は身分証明書(運転免許証・保険証等)が必要です。

080-3020-6166

ゴールドノア 小諸市大字甲字東原田1649-6  
営業時間10:00～17:00【休】水・日曜  
古物商番号 第481102000038号